

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



平成27年度 長野県青果物・花き取引会議

A-Front

「平成27年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催

A-Reports

- ・「準高冷地野菜」出荷はじまる
～東京・大阪・名古屋で消費宣伝会を実施～
- ・JAまごころ宅配「推進担当者研修会」開催
- ・花のある生活を楽しんで
～観光列車「ろくもん」と銀座NAGANOで県産花きをPR～

7

Vol.434
JULY 2015



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

「平成27年度長野県青果物・花き取引会議」を開催

全農長野県本部は青果物・花きの出荷最盛期を前に、長野県産ブランドの販売強化と生産者の所得向上、卸売会社との連携強化を目的に、「平成27年度長野県青果物・花き取引会議」を6月3日(水)に長野市内で開催しました。

青果・花き主要卸売会社23社の代表者、長野県より中島理恵副知事、北原富裕農政部長をはじめ農政部関係者、県下JA組合長・理事長、全農長野県本部の関係者ら85名が出席しました。

会議の冒頭、挨拶に立った全農長野県本部運営委員会・大槻憲雄会長は「日本の農業と食糧を取り巻く環境は、農協改革やT・P・Pなど問題が山積している。安倍政権では農協改革が進められているが、農業・農産の現場は改革目的である農業者の所得増大と地域活性化への道筋が見えない中、将来に対する不安と懸念が渦巻いている。T・P・Pについては、食の安全安心、医療制度など国民生活を根本から崩壊させる恐れがあり、日本農業・農家を守るばかりではなく、食の安全安心や農村文化など国民生活を守る立場でも反対を貫く。本年度の取扱い目標金額1、

513億円余の達成のため、安全・安心・新鮮な信州三ツ山ブランド確立を基本に、実需者ニーズと流通の多様化に対応できる商品開発と生産基盤づくり、販売力の強化に取り組んでいく。そのために、それぞれの卸売会社の皆様と情報交換を行い、さらに実需者への営業活動を一層密にして連携強化に取り組みたい。安全で高品質な長野県産農産物を安定的に市場流通させるため、主要取引会社の皆さんとのパートナーシップをより強化したい」と述べました。

中島副知事からは「県では、県政推進の基本計画である『しあわせ信州創造プラン』及び『第2期食と農業農村振興計画』に基づき、県民・農業者の幸せの実現に向けて、着実な推進に取り組んでいる。農業者の所得向上に向け、経営感覚に優れた農業経営者の育成とマーケティングの生産を進めるとともに、本県主力の園芸作物においては県オリジナル品種の生産拡大や市場評価の高い産地育成など、ブランド力をさらに高める取り組みを進める。長野県の未来は農業の振興、農村の活性

化なしでは考えられない。全国の消費者へ安全安心な農産物をどう供給すればよいかを考えたい」と挨拶がありました。

県農政部長は、中山間地農業の継続発展に向けた取り組みや市場の需要に因應する生産振興、ブランド強化などについて説明し、東京・銀座にオープンした「銀座NAGANO」が食をはじめ信州の魅力を発信していると報告しました。

全農長野県本部は、平成27年度の米穀・果実・野菜・きのこ・花きの取扱高を計1、513億6千万円(前年計画比99・7%)とする計画を示し、「生産基盤・商品力強化」「集荷力強化」「販売力強化」「卸売市場との連携強化」の4つの重点方針について説明しました。また、生産者手取り向上のため、従来の販促活動に加えて消費者の長野県産農産物への共感や信頼を高める長期的な取り組み(＝ブランドディング)に力点を置く戦略を発表しました。

各社からいただいた提言では、東京青果(株)の川田一光社長が「青果物を取り扱うコンビニが増えているが、青果

物販売はまだスーパーが優位に立っている。ポイントは鮮度と品質で、品質が高ければ価格が高くても消費者に受け入れられる」と述べられました。長野県連合青果(株)の堀雄一社長は「人口減少、産地の高齢化や担い手不足といった条件下で新しいビジネスモデルをどう構築するか。規模だけでなく、商品力、企画力、機動性を持ったJAとの連携が求められる」と指摘されました。(株)なにわ花いちばの大西進社長からは「花き業界は生産量が微減する中、輸送コストが上がっている。これは大消費地に近い長野県には追い風。生産現場では高齢化等の問題があることは承知しているが、何とか頑張って生産量を上げてほしい」とエールをいただきました。

なお、会議に先立ち本年度の取り引きが盛大に行われるよう、善光寺大本願にて商売繁盛を祈願しました。

「準高冷地野菜」出荷はじまる

～東京・大阪・名古屋で消費宣伝会を実施～



JA佐久浅間 オオゼキ・大森北店



JA洗馬 オーケーストア・港北店



JA佐久浅間 ビッグリブ(三河屋)・安城店



JA塩尻市 イオン・津店



JA佐久浅間 万代・西宮前浜店



JA松本ハイランド 業務スーパー・泉大津店

全農長野県本部東信事業所と中信事業所は、5月30日(土)と31日(日)に東京・大阪・名古屋の延べ26店舗でレタスを中心とした準高冷地野菜の消費宣伝会を行いました。

5月上旬より重点実需者に対して、長野県産への売り場切替えのための販促企画を提案し、今回、主要卸売会社と県内2大産地が連携した宣伝会が実現しました。各量販店ではバイヤーと店舗の皆様の協力により専用売り場を設け、生産者とJA職員が産地紹介や商品の選び方・食べ方等の情報を伝えながら、多くのお客様にお買い上げいただきました。

今年は、春先の天候不順や干ばつの影響により野菜の市場入荷が減少しており、店頭売価設定が高値傾向の中でしたが、来店のお客様が途切れず、効果的な宣伝会ができました。産地応援が入らなかった店舗にも販売促進員を派遣し、総じて順調な販売となりました。秋にも同様の宣伝会を予定しており、引き続き消費拡大に努めます。

▼東信生産販売課・中信生産販売課

JAまごころ宅配 「推進担当者研修会」開催

全農長野県本部生活部と長野県農協生活事業推進協議会は5月27日(水)、松本市あづみ野低温流通センター内広域宅配センターにおいて「JAまごころ宅配推進担当者研修会」を開催しました。JAの宅配担当者を対象に事業の概要説明や試食を含めた商品研修を行いました。



商品の入荷～箱詰め～出荷までの現場確認

研修会ではまず、「商品の入荷～箱詰め～出荷」などを行う広域宅配センターの作業現場を視察しました。低温に管理された現場では商品管理が厳しく行われ、限られた時間のなかで作業されていることがわかります。さらに、出席者はJAまごころ宅配のおすすめコース「おまかせコース」が宅配会員のご自宅に届くまでを、わ



おまかせコース商品の試食研修

かりやすくまとめたDVDを視聴し、理解を深めました。

その後、宅配事業の概要についてパワーポイントを使った説明などを受け、宅配をご利用されていない組合員向けの推進について実践的な研修を行いました。「宅配の推進方法」についてはJA担当者から率直な意見などが寄せられました。続いて試食研修を行いました。

JAまごころ宅配の「お届け商品」については宅配会員から、ご好評をいただいております。しかし、ご利用いただいていない方には認知度が低く、PRが必要です。JA担当者の実感が

こもったPRは効果が大きく、商品知識は必須であるため、実際の商品を見て、味わって、新商品なども研修しました。こだわり品を実際に試食した担当者からは「やはり、市販品とは違って美味しい」「冷凍ケーキは初めて食べたが美味しい」など様々な感想が聞かれました。その後の意見交換でも多くの質問・意見が寄せられ、共通認識を深める有意義な機会となりました。

▼生活課

～お知らせ～

JAまごころ宅配では、**新規会員を募集中**です！おまかせコースは更に便利に！お届け前にメニュー商品の「いる」「いない」が選べるので苦手なもの、不要なものは届きません。ご利用については、お近くのJA・全農長野まごころ宅配センター（TEL：026-236-2257）までお気軽にお問合せください

花のある生活を楽しんで

～観光列車「ろくもん」と銀座NAGANOで県産花きをPR～

全農長野県本部野菜花き課と

JAちくまは6月6日(土)、しなの鉄道が運行している観光列車「ろくもん」で、出荷最盛期を迎える長野県産トルコギキョウの知名度を高めようとPRイベントを初めて行いました。

6月4日(木)より展示した「シャクヤク」は、白、薄ピンク、濃ピンクの3色を使った花束が正面入り口の中央に飾られ、通りを歩く方々が立ち止まって目を留めていました。今後は6月25日(木)からカーネーション、7月9日(木)からヒマワリ・ヒペリカ

ムと、出荷最盛期にあわせた品目の展示を年間10回行う予定です。

野菜花き課は様々な機会を活用して、長野県産花きの認知度向上と花のある生活を楽しんでいただくきっかけを作り、消費拡大につなげていきます。



トルコギキョウを受け取る乗客の皆さん



列車内に展示されたトルコギキョウのアレンジメント〈制作協力：(株)ヌボー生花店〉



銀座NAGANO入り口正面に飾られたシャクヤク〈制作協力：(株)フレネットHIBIYA〉



競り落とされた子牛は約6割が県内、4割が県外で肥育される



ヘルメットとビブスを着用した専門の引き手



セリの順番を待つ上場牛

子牛相場は堅調に推移

～6月 長野県中央家畜市場～

6月11日(木)、木曾町の長野県中央家畜市場において全農長野県本部が開設する6月期長野県中央家畜市場が開かれました。

和牛子牛352頭、和牛成牛28頭、ホルスタイン成牛5頭が上場され、県内外から訪れた90名余の購買者により、活発なセリ取引が行われました。

素牛不足による子牛相場の高騰は昨年から続いており、今回の市場相場も堅調に推移しました。和牛子牛価格の平均は、雌610、972円、去勢670、529円、全体平均644、908円と、前回4月期より上場頭数、平均価格とも上回りました。

子牛生産農家の減少、高齢化等により、長野県中央家畜市場の和牛子牛上場頭数は年々減少傾向にあります。畜産課では、優良繁殖和牛の受精卵確保に取組み生産基盤を維持し、県内繁殖および肥育生産者の経営安定に努めます。

実需者の要望を事前集約し 商談会での成約を目指す

～「平成27年度信州フワートレードフェア」開催～

全農長野県本部の県外販売事務所が事務局を持つ協議会（東京地区長野県花き推進協議会、京阪神地区信州花き販売推進協議会、中部圏花き推進協議会）と東京・大阪・名古屋販売事務所は、長野県内花き生産地と消費地の実需者をつなぐ商談会として「平成27年度信州フワートレードフェア」を開催しました。

各会場とも開催地に即した運営を心掛け、この一環として、大阪と名古屋では商談会前段で各産地がプレゼンテーションを行い、産地情報を提供しました。



挨拶をする中部圏花き推進協議会 林協議会長（名古屋会場）



商談会前段で行われた産地紹介（大阪会場）



県産花きを売り込むJA担当者（東京会場）

商談会では、より具体的な取引につなげるため、事前に産地から売り込みたい品目や時期、ターゲットとしたい実需者についての要望を集約して商談を進めました。一方、実需者側からも求める品目や時期、今後産地に希望する品目など商談に期待する内容を事前に集約し、よりよい結果を残せるような組み合わせをした上で開催しました。今後は、取引開始に向けた個々の取引条件の交渉が必要となります。

当県本部では引き続き、実需者とのより良い関係を構築する取組みを進めていきます。

65人が田植え体験

～「東都生協「田植え体験ツアー」」～

全農長野県本部米穀課は5月16日(土)、小諸市に東都生協の組合員を招き「田植え体験ツアー」を開催しました。雨天にもかかわらず、生協組合員、生産者、JA関係者など総勢65人が参加。東都生協交流田で手植えの作業を体験してもらいました。とても熱心な組合員が多く、約10アールの水田は1時間ほどで作業を終了しました。その後の昼食会ではJA佐久浅間産コシヒカリのおにぎりや長野県産きのこの「きのこ汁」を振る舞い、交流を深めました。組合員からは、「東京では体験できない事ばかり。自然と触れ合えて本当に貴重な体験でした」など喜びの声をいただきました。10月には稲刈りツアーを予定しています。

このような体験を通して産地を身近に感じていただき、「長野県産」が選ばれるきっかけにしたいと思います。



熱心に田植えをする参加者

夏にうれしい らくらく時短レシピ

～クックパッドで夏場のきのこ消費拡大を～

全農長野県本部きのこ課は、7月6日(月)から8月2日(日)までの28日間、レシピサイト「クックパッド」に、夏場のきのこ消費拡大を目的に特集ページを掲載します。レシピは「夏にうれしいらくらく時短レシピ」をテーマに、料理研究家 曽根小有里さんに5つのメニューを考案していただきました。そのレシピは、クックパッド内のほぼ全ての画面の右側に表示される「毎週更新！おすすめ特集」から簡単に閲覧することが出来ます。店頭での宣伝会ではこのレシピの試食と提供とレシピカードの配布により、きのこを使った時短料理を紹介します。

クックパッドは20代から40代の女性を中心に、月間延べ5,000万人以上が利用するサイトです。このサイトを活用した主婦層への効果的なアプローチと、店頭販促による直接的な需要喚起で、夏場の消費拡大を狙います。



時短レシピはクックパッドで、[信州力](#) [レシピ検索](#) からご覧ください。

更なる安定販売を要請

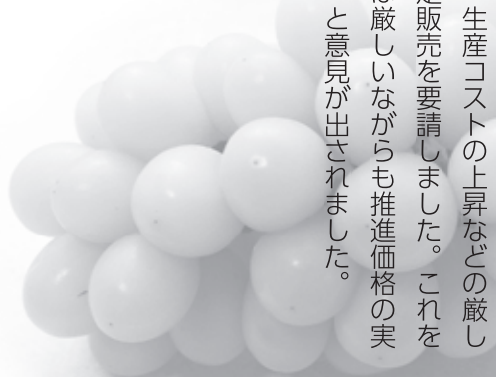
北信地区ハウスブドウ販売促進会議

北信園芸事業推進協議会（事務局／全農長野県本部北信事業所）は5月29日（金）、東京シティ青果（株）で北信地区ハウスブドウ販売促進会議を開催し、販売方針が確認されました。

会議には、関東・関西・中京地区の代表卸売市場7社、JAブドウ部会代表者および担当者など24名の出席をいただき、産地側から「本年度の出荷計画並びに販売方針について」、卸売会社から「市場情勢並びに産地への要望事項について」をそれぞれ説明しました。

本年度の北信地区のハウスブドウは、5kg換算114,940箱（前年実績比99%）の出荷が計画されています。昨年2月の豪雪被害により、一部でハウス栽培から露地栽培への切り替え、また巨峰からシャインマスカットへの品種切り替えがされたため微減する見込みです。

意見交換では産地側より、生産コストの上昇などの厳しい状況であるため更なる安定販売を要請しました。これを受け市場側から「消費動向は厳しいながらも推進価格の実現に向けて最大限努力する」と意見が出されました。



6月1日は「牛乳の日」。

長野県産牛乳・乳製品をPR！

6月は牛乳月間。食堂しなの木で「乳和食定食」を提供

全農長野県本部酪農課とJA佐久浅間・信州うへだ・ちくま・北信州みゆきは「牛乳の日」の6月1日（月）、JR長野駅前で長野県産牛乳・乳製品の消費拡大を目的にPR活動を行いました。

牛乳が製品になるまでの課程や、適度な運動の後30分以内に牛乳を飲むと熱中症予防につながる、などと書かれたチラシを駅利用者配りながら「長野県産の牛乳を飲んでください」と呼びかけました。

一方、JA長野県ビルの食堂しなの木では6月の毎週金曜日、牛乳と和食を組み合わせた「乳和食（にゅうわしよく）定食」を提供しました。「ミルクとんかつ定食」「さばのミルク焼き定食」などの印象的な名前のメニューはお客様の関心を引き、予定数は毎回30分ほどで売り切れました。和食に牛乳を組み合わせてコク味や旨味を出すことで減塩できる乳和食ですが、和食と馴染む牛乳の量が計算されており、牛乳が苦手な方にもおいしく召し上がっていただけます。

酪農課では、牛乳の幅広い活用方法を紹介して消費拡大をはかります。



JR長野駅前のPR活動



衣の水と卵の代わりに牛乳をつかった「ミルクとんかつ定食」

営農指導者体制強化に向けて注力

JA長野県営農指導者会議「通常総会」を開催

JA長野県営農指導者会議（事務局／JA長野県営農センター）は、6月2日（火）にJA長野県ビルで第13回通常総会を開催しました。

総会では、平成26年度活動報告並びに収支決算、平成27年度活動計画、平成27年度役員が改選され承認されました。会議の冒頭、下村治平会長（JA塩尻市）は「本年度は平成28年度・30年度の中期3カ年計画策定の年でありJAの自己改革が問われる大事な3カ年計画となる。営農指導員自らも現3カ年計画を検証し、しっかりと対応して欲しい」と述べました。また、特別決議として「TPP交渉に関する国会決議等の実現

を求める特別決議」が提案され満場一致で可決されました。

総会後、JA長野中央会総務企画部の高松春洋次長より「営農技術員への期待」と題した講演が行われ、営農指導の本質と実態、農協改革の捉え方、営農指導強化取り組み方針について学びました。その中で、高松次長は自己改革を成功させるため、一人一人の自己改革を強く求め、営農指導員に期待を寄せました。

27年度の役員

会長	小池宏明	JAながの
副会長	高橋吉紀	JA佐久浅間
副会長	小林昇	JA信州諏訪
副会長	一志寛	JAあつみ



一年間の締め括りのあいさつをする下村会長



新旧役員のみなさん



「営農技術員への期待」講演するJA長野中央会 高松次長

新採用職員紹介

【SS協同経営課 臼田俊彦】

はじめまして、SS協同経営課の臼田と申します。東信の佐久市出身です。食品関係の仕事に興味を持ち、入会いたしました。私生活では、当県本部職員が中心メンバーのバスケット部「スクワールズ」に入部し、非常に充実した日々を過ごしています。仕事を通じて、多くを学び長野県の農業の発展に少しでも貢献できればと思います。よろしくお願い致します。



エネゴリ君に似ていると言われます

【畜産課 泉 晃広】

はじめまして。畜産課の泉と申します。幼いころから農業の現場で働く父の姿を見ているうちに、農業に興味をもつようになりました。ただ、食に対する関心がすこし低く、まだまだ長野県の食を理解できていません。ですので、これからは美味しいものをいっぱい食べて、皆さんに喜んでもらえる農畜産物の生産に貢献していけるよう頑張っていきたいと思います。



酪農課の手伝い(?)でソフトクリームの試食をしました

7月の動き▶

総務 広報課	●協同組合シンポジウム 7月6日(月) JA長野県ビル アクティーホール ●松本山雅FCホームゲーム スイカPRイベント 7月19日(日) 松本市・アルウィン
生産 販売部	●農産物でチケットGET！キャンペーン 第3弾 6月15日(月)～7月13日(月) 松本山雅FCホームゲームチケットや農産物が当たるキャンペーンです ●みそフェスタ2015 in 長野 7月25日(土) 長野市・トイゴ 長野県産ハクサイとセルリーで「りきみそ」にトライ！ (JA長野県農産物PR協議会) ●長野県生協連合会「食育ランチ」 7月16日(休)・17日(金) 信州大学、松本大学、長野県短期大学食堂 ●農から楽しむ食の世界(スイカ編) 7月下旬 信学会 松本神映幼稚園 ●野菜ソムリエKAORUの夏野菜健康術 7月30日(休) 東京・銀座NAGANO
野菜 花き課	●野菜一斉宣伝会 7月4日(土)、7月25日(土) 東京、大阪、名古屋 ●銀座NAGANO県産花き展示 7月9日(休)～ ヒマワリ、ヒペリカム 東京・銀座NAGANO ●「信州とれたてキャンペーン」レタス、ハクサイ編 7月上旬～8月上旬 ●信州フラワーショー サマーセレクション 7月23日(休)～24日(金) JA長野県ビル アクティーホール
農業 機械課	●JA農機&資材フェスタ 7月31日(金)～8月1日(土) 長野市・エムウェーブ

JA全農長野の事業現況

平成27年度5月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	2,635	182	114
果	実	215	119	119
野菜	花き	3,890	129	131
野菜種苗	センター	57	87	80
きのこ		2,541	103	110
営業		924	102	109
生産販売部計		10,262	127	118
包装資材		963	83	133
生産資材		3,080	106	122
農業機械		1,307	102	115
施設住宅		322	120	81
生産購買部計		5,673	101	118
畜産		2,025	110	102
三岳牧場		38	98	106
SPF繁殖センター		42	93	91
酪農		2,798	102	106
ハケ岳牧場		43	96	97
畜産酪農部計		4,947	105	104
燃料・ホームエネルギー		4,030	102	84
SS協同経営		1,813	107	94
生活		2,342	102	102
生活部計		8,184	103	91
長野県本部計		29,066	110	90
参考(A・コープを除く)		29,066	110	107

(内部販売高含む)

7月のテレビ・ラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7日(火) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	ブラム
7日(火) 16:10	SBCラジオ	らじカン内「ミルクマガジン」	牛乳セミナーの様子
14日(火) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	ブルーノ
14日(火) 16:10	SBCラジオ	らじカン内「ミルクマガジン」	牛乳を飲んで健康に
21日(火) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	カーネーション
21日(火) 16:10	SBCラジオ	らじカン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ
22日(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	JA農機&資材フェスタの案内
24日(金) 10:18	FM長野	グッドモーニングレディオ内「発見!信州のチカラ」	輪ギク
24日(金) 18:00	FM長野	346GROOVE FRIDAY内「JAインフォメーション」	きのこ
25日(土) 24:09	abn長野朝日放送	アサヒビールPresents 美味しい信州見つけに行こう!	セルリー
28日(火) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	レタス
28日(火) 16:10	SBCラジオ	らじカン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ

編集後記

先日、小学校の授業参観に行きました。日頃の忙しさにまけてあまり子供の学校行事へは参加していませんが、「たまには行かないと」と日頃思っていて、久々に行ってきました。しかしながら、子供達がガヤガヤしながら授業を受けている様子は普通なのですが、参観に来ている保護者達もこれまた騒がしい。顔見知りの親同士でしゃべりしていたり、スマホをいじったり電話していたりと、せっかく来ているのだから子供の教育はまず親からと言われます。そういう自分もあり大きなことは言えませんが。。。

「2015JA農機&資材フェスタ開催」のご案内

長野県農協生産資材事業推進協議会と全農長野県本部は7月31日(金)～8月1日(土)、長野市エムウェーブで「2015JA農機&資材フェスタ」を開催します。

農機メーカー、生産資材メーカーなど約55社のご協賛をいただき、最新農業機械はもちろん、肥料、農薬、農業資材まで幅広く展示・即売します。

また、花の苗やガーデニング用品もたくさん取り揃えており、組合員の皆様はもとより、一般来場の皆様にも楽しんでいただけます。

皆様のご来場をお待ちしています。



昨年の様子

- 日時 平成27年
7月31日(金) 9:00～16:00
8月1日(土) 9:00～15:00
- 会場 長野市オリンピック記念アリーナ
エムウェーブ
(長野市大字北長池195)
- 入場料 無料

第47回

「信州フラワーショー サマーセレクション」のご案内

全国一の生産量を誇るカーネーション・トルコギキョウをはじめ、キク・スターチス・グラジオラス・ユリなど約500点が県内から出品され、品質や栽培技術を競います。

皆様のご来場をお待ちしています。

- 開催日 平成27年7月23日(休)～24日(金)
- 一般公開 7月23日(休) 午後3時～午後6時
7月24日(金) 午前9時～午後2時 (午前11時～褒賞授与式)
- 会場 JA長野県ビル「アクティーホール」
- 実施内容 (1)品評会(切花、花木)
(2)展示会 ①フラワーアレンジメント
②種苗会社による品目・品種紹介
③花き関連新資材・機器
(3)花の販売 ①品評会出品展示品
一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の7月24日(金)午後2時よりお渡しします。
(～午後4時まで)
②信州産の花を使った花束・アレンジ等
一般公開時に花束・アレンジメント等の即売を行います。



更なる発展・未来に向かって! 長野県農業



2015



JA農機&資材フェスタ

2015年

7月31日(金) 8月1日(土)

AM9:00~PM4:00 AM9:00~PM3:00

開催場所 **エムウェーブ**
(長野市オリンピック記念アリーナ)

どなたでも
入場無料

トラクター・田植機

農機具類から

肥料・農薬・農業関連資材まで

使って便利な品々が

「Mウェーブ」に大集結!!

目玉機や実演機など
お値打ち品も展示!!



花の苗や
カーテニング用品等も
たくさん取り揃えて
お待ちしております!!



■主 催

長野県農協生産資材事業推進協議会

■後 援

長野県、長野県くみあい農業機械サービス連絡協議会
JA全農長野

~あなたの帰りを待っている人がいます~

ストップ・ザ・農作業事故 農作業安全はJAの願いです。

会場ご案内図



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

